令和５年１０月

保護者・地域の皆様へ

【中学校版】令和５年度全国学力・学習状況調査の結果

菰野町教育委員会

令和５年４月１８日に、中学校３年生を対象に実施された全国学力・学習状況調査の結果の概要をまとめました。

結果の公表については、保護者・地域の皆様に学校教育と家庭教育についてのご理解とご協力を得ることが何よりも大切であると考え、教科に関する結果、学力の背景となっている生徒質問紙調査からみられた本町の児童の好ましい傾向と教育課題、そして今後の取り組みについてお示しさせていただきます。

教科に関する調査結果の概要

教科に関する調査は、国語、数学、英語の３教科で実施されました。本町では、国語、数学、英語それぞれにおいて、全国の平均正答率を下回る結果となりました。

以下に、調査結果から「おおむね理解している問題」と「課題がみられた問題」についてまとめました。

【中学校　国語】

≪おおむね理解している問題≫

◇　事象や行為、心情を表す語句について理解しているかどうかをみる問題。（正答率：約９割）

・「落胆する」の意味として適切なものを選択することができます。

≪課題がみられた問題≫

◆　観点を明確にして文章を比較し、表現の効果について考える問題。　（正答率：約６割）

・二つの文章に共通する表現の効果として適切なものを選択することに課題がみられます。

課題がみられた問題

2　中山さんは、本の読み方について考えるために、【A】と【B】の文章を読んでいます。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

【A】

同じ本を二度と読まない人はいるでしょうが、歳をとると前に買ったことを忘れて同じ本を買ってしまうこともありますし、読み進むうちに既視感があって、おかしいと思っていたら、前に一度読んだことのある本であることに気づくことがあります。

そんな時でも落胆する必要はありません。本を再読する時には、前に読んでいた時と違って同じ本でも違った読み方ができます。忘れたわけでなく、あえて同じ本を何何度も読む人もいます。

同じ本でもいつも読むたびに新しい発見があります。ギリシアの哲学者であるヘラクレイトスが「同じ川には二度入れない」といっています。

前に読んだ本でも初めて読むような気がするのは、何が書いてあったかを忘れてしまったからではありません。川に足をつける時、それが二度目であっても、川の流れは前と同じであるはずはありませんし、自分も前に足をつけた時とは違っているはずなので、「同じ川には二度入れない」のです。

本の場合は、たしかに書いてあることは同じなのですが、それでも自分は前に読んだ時とは違っているので、同じ本でも同じように読むことはできません。

その上、前と今とでは同じように読んでいるわけでもないのです。前に読んだ時には読み落としていたり、あるいは、あまり強い印象を残さなかった箇所があることに気がつきます。印刷されている文字は同じでも、前と同じ本を読んでいるのではないといっていいくらいです。

以前より必ず成長しなければならないわけではありませんが、今の自分が前に読んだ時とは違うと感じられるというのも読書の楽しみの一つだと思います。

（岩見一郎「本をどう読むか」による。）

【B】

ある作家の全集を読むのは非常にいいことだ。研究でもしようというのでなければ、そんなことは全く無駄事だと思われがちだが、決してそうではない。読書の楽しみの源泉にはいつも「文は人なり」という言葉があるのだが、この言葉の深い意味を了解するのには、全集を読むのが、一番手っ取り早いしかも確実な方法なのである。

一流の作家なら誰でもいい、好きな作家でよい。あんまり多作の人は厄介だから、手頃なのを一人選べばよい。その人の全集を、日記や書簡の類に至るまで、隅から隅まで読んでみるのだ。

そうすると、一流と言われる人物は、どんなに色々なことを試み、いろいろなことを考えていたかが解る。彼の代表作などと呼ばれているものが、彼の考えていたどんなに沢山の思想を犠牲にした結果、生まれたものであるかが納得出来る。単純に考えていたその作家の姿などはこの人にこんな言葉があったのか、こんな思想があったのかという驚きで、滅茶々々になってしまうであろう。その作家の性格とか、個性とかいうものは、もはや表面のところに判然と見えるというようなものではなく、いよいよ奥の方の深い小暗いところに、手探りで捜さねばならぬもののように思われて来るだろう。

僕は、理窟を述べるのではなく、経験を話すのだが、そうして手探りをしているうちに、作者にめぐり会うのであって、誰かの紹介などによって相手を知るのではない。こうして、小暗いところで、顔は定かにわからぬが、手はしっかりと掴んだという具合な解り方をしてしまうと、その作家の傑作とか失敗作とかいうような区別も、別段大した意味を持たなくなる、と言うより、ほんの片言隻句にも、その作家の人間全部が感じられるというようになる。

これが、「文は人なり」という言葉の真意だ。それは、文は眼の前にあり、人は奥の方にいる、という意味だ。

（小林秀雄「読書について」による。）

二　【A】と【B】の文章に共通している表現の効果を説明したものとして最も適切なものを、次の１から４までの中から一つ選びなさい。

1　主張に関わる言葉を引用することで、伝えたいことを印象付けている。
2　敬体でていねいに述べることで、伝えたいことを身近に感じさせている。
3　問いかけを用いることで、伝えたいことに興味をもたせている。
4　冒頭の一文に結論を示すことで、伝えたいことを明確にしている。

≪今後の学習の手立て≫

文章で述べられている内容を確かめさせた上で、文章のどの部分にどのような表現の工夫が見られるかを捉えさせる学習場面を大切にします。その際、文章の構成や展開、引用や事例の示し方、文末表現や文体などに着目させ、それらの工夫が文章の内容を伝えたり印象付けたりする上で、どのように働いているかを考えさせる学習活動を計画的に設定していきます。

【中学校　数学】

≪おおむね理解している問題≫

◇　数と正式の乗法の計算ができるかどうかをみる問題。　（正答率：約８割）

・$12(\frac{x}{4} + \frac{y}{6})$を計算することができます。

≪課題がみられた問題≫

◆　累積度数の意味を理解しているかどうかをみる問題。　（正答率：約３割）

・女子 50m 自由形の記録の、最小の段階から 9.00 秒以上 30.00 秒未満の段階までの累積度数を求めることに課題がみられます。

課題がみられた問題

5　ある市の中学生の水泳大会における女子50ｍ自由形に出場した40人の記録を調べました。調べた結果を、次の累積度数を含めた度数分布表に整理します。

女子50ｍ自由形の記録

階級（秒） 以上　　未満	度数（人）	累積度数（人）
27.00 ～ 28.00	3	
28.00 ～ 29.00	2	
29.00 ～ 30.00	4	ア
30.00 ～ 31.00	11	
31.00 ～ 32.00	8	
32.00 ～ 33.00	6	
33.00 ～ 34.00	3	
34.00 ～ 35.00	3	
合計	40	

女子50ｍ自由形の記録の　ア　には最小の階級から29.00秒以上30.00秒未満の階級までの累積度数が入ります。　ア　に入る値を求めなさい。

≪今後の学習の手立て≫

「累積度数」は、度数分布表などを用いてデータの傾向を読み取る際に必要となる知識です。今回の調査では、「四分位範囲」の意味理解にも課題が見られる学校がありました。「累積度数」「四分位範囲」は、「データの活用」という学習領域の大切な数学用語です。

「累積度数」では、データ分布の傾向を捉える活動を、「四分位範囲」では、複数の集団のデータ分布に注目させて傾向を比較して読み取る活動を大切にしていきます。

また、「データの活用」を含めたすべての学習領域において、数学用語の必要性と意味をしっかりと理解させることを大切にしていきます。

【中学校　英語】

≪おおむね理解している問題≫

◇　ある状況を描写する英語を正確に聞き取る問題。　（正答率：約８割）

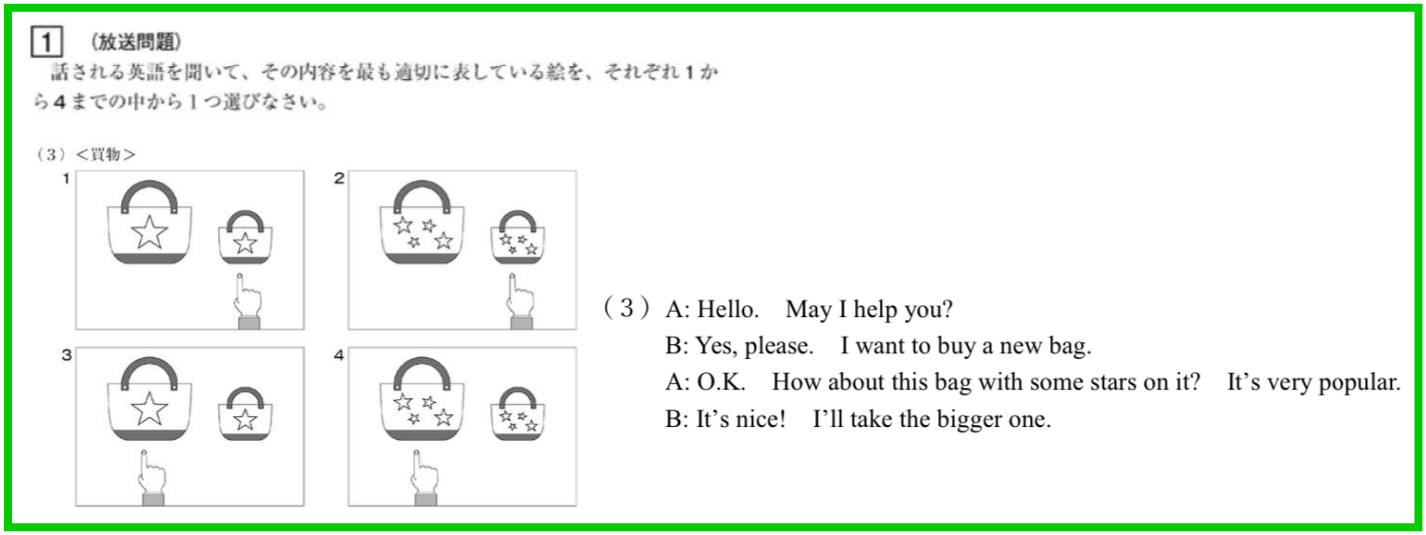
・部屋の中の様子を描写する英語を聞き、その内容を最も適切に表している絵を選択することができます。

≪課題がみられた問題≫

◆　ある場面の会話を正確に聞き取る問題。　（正答率：約４割）

・買い物場面における店員と客の会話を聞き、その内容を最も適切に表している絵を選択することに課題がみられます。音の変化が起きる箇所を聞き取ることができていないと考えられます。

課題がみられた問題



1 （放送問題）

話される英語を聞いて、その内容を最も適切に表している絵を、それぞれ１から４までの中から１つ選びなさい。

（３）＜買物＞

（３） A: Hello.　May I help you?
B: Yes, please.　I want to buy a new bag.
A: O.K.　How about this bag with some stars on it?　It's very popular.
B: It's nice!　I'll take the bigger one.

≪今後の学習の手立て≫

情報を正確に聞き取ることができるようにするためには、聞く学習活動を一時的なものにせず、継続的に行っていく必要があります。自然な速さで話される音声を聞いて、語と語の連結による音変化や強勢による英語特有のリズムやイントネーションに慣れる学習の機会を増やしていきます。

文部科学省より生徒一人ひとりに学習者用デジタル教科書が配付されています。学習者用デジタル教科書を活用して、生徒が音の変化に着目して特定の箇所を聞いたり、速度を落として何度も聞き直したりすることを大切にしていきます。

生徒質問紙調査からみられた好ましい傾向

菰野町の子どもたち

自分には よいところがある	いじめは どんな理由があっても いけないことだと思う	学校に行くことが 楽しい	先生は 自分の良いところを 認めてくれている
83.2%	96.6%	84.7%	89.0%
（全国 80.0%）	（全国 66.3%）	（全国 81.8%）	（全国 87.3%）

※子どもたちが生徒質問紙で肯定的に回答した割合が全国より高かった設問より

菰野町では、教育活動全体において、子どもたち一人ひとりをほめたり、認めたり、励ましたりしながら自尊感情を育むこと、仲間と安心して学び合える学習環境をつくることを大切にしてまいりました。

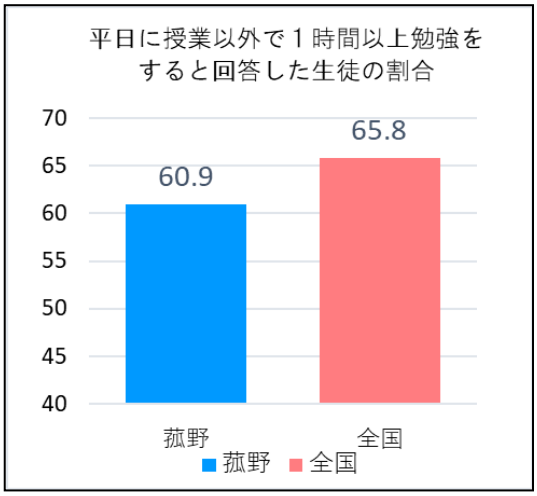
今後も、子どもたち一人ひとりのよさを認めたり、達成感を味わわせたり、子どもたちがお互いを認め合ったり助け合ったりする教育活動を推進し、子どもたちが将来の夢や目標の実現に向かって自信を高めていけるよう努めてまいります。

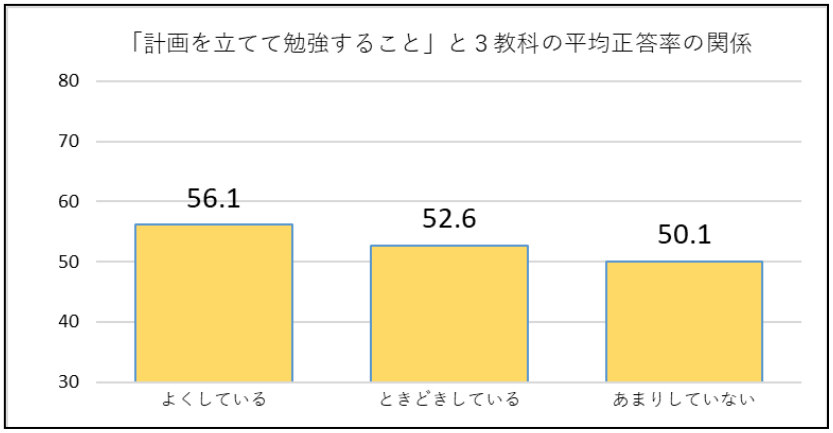
また、菰野町の子どもたちは、保護者・地域の皆様に支えられ、すこやかに成長しています。今後も保護者・地域の皆様と連携・協働して地域ならではの特色を生かした学校づくりを進めてまいります。

ご家庭でお願いしたいこと

生徒質問紙調査からみられた課題

Q　学校の授業時間以外に、普段、１日当たりどれくらいの時間、勉強しますか





授業以外で１時間以上勉強をしていると回答した生徒の割合は、全国と比べて低い傾向にあります。

家で自分で計画を立てて勉強（予習や復習をふくむ）をしている生徒ほど、３教科の正答率が高い傾向にあります。

家庭で学習する習慣を身につけさせましょう

子どもたちに学校で学習した内容を定着させるためには、家庭での学習習慣を身につけさせることがとても重要です。繰り返しの練習や授業の予習・復習に日常的に取り組むことで、基礎・基本が確実に定着していきます。

子どもたちが毎日の家庭学習に取り組むことができるように、励ましの声かけや学習に集中して取り組める環境づくりにご協力をお願いします。

また、ゲームをする時間やスマートフォン、タブレットの使用時間が長時間とならないように、見守りや声かけもお願いします。

菰野町では、家庭学習の充実ために「家庭学習の手引き」を作成し、子どもたちと保護者の皆様に配付しています。「家庭学習の手引き」をご活用いただき、お子さんと一緒に家庭学習の取り組みについて、振り返っていただきますようお願いします。

保護者・地域の皆様へ

菰野町では、学校と教育委員会が一体となって、子どもたちの「確かな学力」の育成をめざして、子どもたちが「わかる・できる喜び」を実感できる授業改善と学力向上に向けた取り組みを進めてまいります。

今後も、学校・家庭・地域が一体となって、子どもたちの成長を支えてまいりたいと考えておりますので、ご理解とご協力をお願いします。